

# Dual-Eye 2nd

ユーザー・マニュアル

(Ver 2.0.0.10)



# 目次

<b>Chapter 1. はじめに</b> .....	<b>3</b>
1.1 ハードウェアの仕様.....	7
1.2 LED 表示.....	8
1.3 デュアル・モニター仕様 (HDMI) .....	9
<b>Chapter 2. Dual-Eye 2nd の準備</b> .....	<b>10</b>
2.1 クライアント PC 要求仕様.....	10
2.2 Dual-Eye 2nd への接続.....	11
2.2.1 EZ Search のインストール.....	11
2.2.2 Dual-Eye 2nd への接続.....	18
<b>Chapter 3. ローカル・ディスプレイでの操作</b> .....	<b>19</b>
3.1 ログインする.....	19
3.1.1 匿名アクセス.....	20
3.2 映像表示.....	22
3.2.1 映像表示モードの選択.....	22
3.2.2 映像表示での主な機能.....	23
3.2.3 オプション (映像ウィンドウ上の右クリック) .....	26
3.3 録画再生.....	28
3.3.1 録画再生の手順.....	28
<b>Chapter 4. 設定</b> .....	<b>30</b>
4.1 カメラ設定.....	30
4.1.1 映像表示設定.....	34
4.1.2 カメラの状態.....	36
4.2 ネットワーク設定.....	36
4.2.1 ネットワークサービス.....	38
4.3 管理.....	39
4.3.1 ユーザー管理.....	39
4.3.2 ログ・システム.....	42
4.3.3 設定の読み込み (初期化) .....	43
4.4 システム.....	45

4.4.1	機器情報 .....	45
4.4.2	システムのアップグレード .....	46
4.4.3	言語 .....	47
4.4.4	日付と時間 .....	47
4.4.5	再起動とシャットダウン .....	49

# Chapter 1. はじめに

## 本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずユーザー・マニュアルの内容をご確認ください。

### = 保証の範囲 =

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。


### 注意：


1. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は一切責任を負いません。

# 安全にお使いいただくために




人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。


## 警告

<b>工事は販売店に依頼する</b>  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ●必ず販売店に依頼してください。	<b>分解しない、改造しない</b>  火災や感電の原因となります。 分解禁止 ●修理や点検は、販売店に依頼してください。	<b>異物を入れない</b>  水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
<b>異常があるときは、すぐ使用をやめる</b>  煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。 ●放置せずただちに電源を切り、販売店に連絡してください。	<b>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</b>  水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。 水ぬれ禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。	<b>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</b>  プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。 ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

<p><b>不安定な場所に置かない</b></p>  <p>落下および転倒によるけがや事故の原因となります。</p>	<p><b>雷のときは工事、配線をしない</b></p>  <p>火災や感電の原因となります</p>	<p><b>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</b></p>  <p>感電の原因となります</p> <p>ぬれ手禁止</p>
<p><b>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない</b></p>  <p>傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。</p> <p>傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど</p>	<p><b>アースを確実に取り付ける</b></p>  <p>アースは確実に行って使用してください。アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。</p> <p>●販売店に相談してください (アース工事費は本製品の価格には含まれておりません)。</p>	
<p><b>電源を入れたまま工事、配線をしない</b></p>  <p>火災や感電の原因となります</p>	<p><b>電源コードは、必ずプラグ本体を持った抜く</b></p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因となります。</p>	<p><b>電源プラグは根元まで確実に差し込む</b></p>  <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
<p><b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない</b></p>  <p>たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p>	<p><b>振動や強い衝撃を与えない</b></p>  <p>火災や感電の原因となります。</p>	<p><b>湿気やほこりの多い場所に設置しない</b></p>  <p>火災や感電の原因となります。</p>

 **注意**

**通気孔をふさがない**



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

# 機器設置の注意点

## ●ユーザー・マニュアルを読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

## ●電源

必ず製品付属の AC アダプターをご利用ください。

## ●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

## ●警告

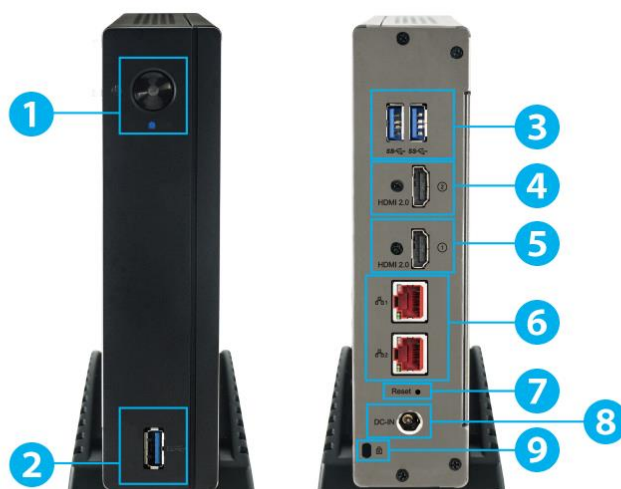
漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

### == 安全にお使いいただくために ==

1. 本製品は外気温 0-40 度、湿度 0-85% の環境下でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。
6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。
8. 万が一の感電防止のためアース（接地）することをお勧めします。
9. 電源コードの上にものを置かないでください。
10. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障かと思われた時は販売店にご相談ください。



## 1.1 ハードウェアの仕様



1. 電源ボタン
2. USB 3.0 × 1
3. USB 3.0 × 2
4. HDMI 2.0 × 1 (※モニター2)
5. HDMI 2.0 × 1 (※モニター1)  
※4K モニターを接続する場合はこちらを使用してください
6. 2.5G BASE-T (RJ-45) × 2
7. リセットボタン
8. 電源端子
9. K-lock セキュリティスロット

## 1.2 LED 表示



フロントパネル (Dual-Eye 2nd)

### 正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	青	電源オンの状態
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態

### 背面 RJ-45 の LAN ポートの状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Speed (上)	消灯	10M / 100M 接続か 未接続の状態
		オレンジ	1000M 接続の状態
LAN	Link/Activity (下)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態

### 注意 :

- ※ Dual-Eye 2nd の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- ※ Dual-Eye 2nd の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

### = 初期化方法 =

- ※ Dual-Eye 2nd を初期化する場合は、背面のリセットボタンを押してください。  
→電源が入った状態で「ピッ」と音が鳴るまでリセットボタンを押し続け、音が鳴ればボタンを離してください。その後、リセット動作が実行されます。

### 1.3 デュアル・モニター仕様 (HDMI)

映像出力用に HDMI 端子×2 を持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力可能です。

※ 4K 出力、個別モードとクローン・モードの選択が可能

※ 4K 出力時は 2 台目のモニターは使用できません (※モニター① [※下側] の HDMI 端子を使用してください)。

**組み合わせ A :** ディスプレイが 4K (3840×2160) の場合、モニター2 からの接続はできません。

**組み合わせ B :** ディスプレイが 2 台ともフル HD (1920×1080) 解像度の場合、どちらもフル HD で表示されます。

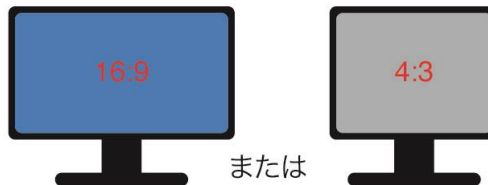
※デュアル・ディスプレイ使用時は、必ず 1920×1080 のモニターを使用してください。

**組み合わせ C :** ディスプレイが 2 台とも VGA (1024×768) 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます (※デュアル・ディスプレイ使用時はこの組み合わせは使用できません)。

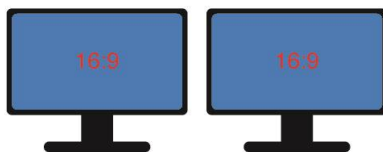
**組み合わせ D :** ディスプレイの 1 台がフル HD、もう 1 台が VGA 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます (※デュアル・ディスプレイ使用時はこの組み合わせは使用できません)。

同時に、同じ映像を確認する場合 (※デュアル・モニター使用時)

ディスプレイ1台のみ接続



デュアル使用A



両方ともフルHD解像度なら  
フルHDで表示

デュアル使用B



両方ともVGA解像度なら  
VGAで表示

デュアル使用C



どちらかがVGA解像度なら  
VGAで表示

※個別モードにてそれぞれ異なる分割表示を行う場合は、必ず 1920×1080 のモニターを使用してください (1024×768 での個別モードはサポートしていません) 。

## Chapter 2. Dual-Eye 2nd の準備

### 2.1 クライアント PC 要求仕様

Dual-Eye 2nd に接続して設定を行うために最低限必要な仕様は以下の通りです。

- オペレーティング・システム

Microsoft® Windows 10 professional/Windows 11 Professional

- ブラウザ

Microsoft® Edge

- Adobe Reader

ユーザー・マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

※クライアント PC を使用しての映像のモニタリングはできません。

## 2.2 Dual-Eye 2nd への接続

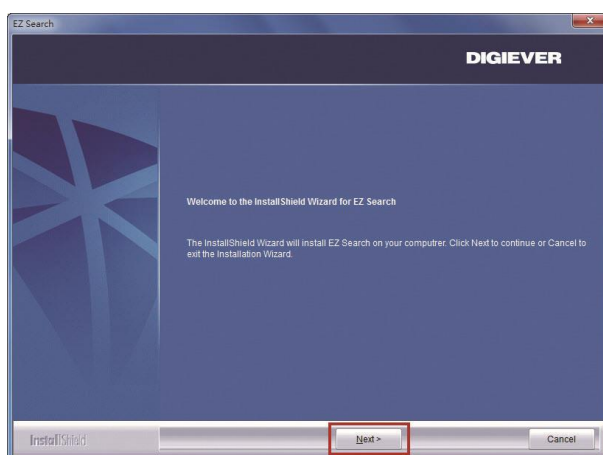
弊社ホームページより、ユーザー・マニュアル及びユーティリティをインストールしてください。

URL : <https://www.rodweb.co.jp/download/index.html>

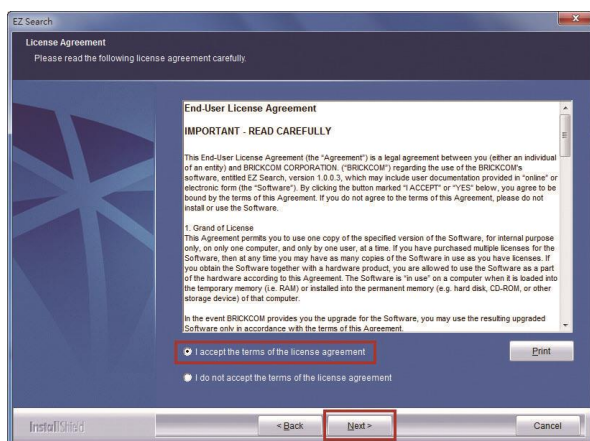
(ROD ホームページ内「ダウンロード」の項目内よりダウンロードできます)

### 2.2.1 EZ Search のインストール

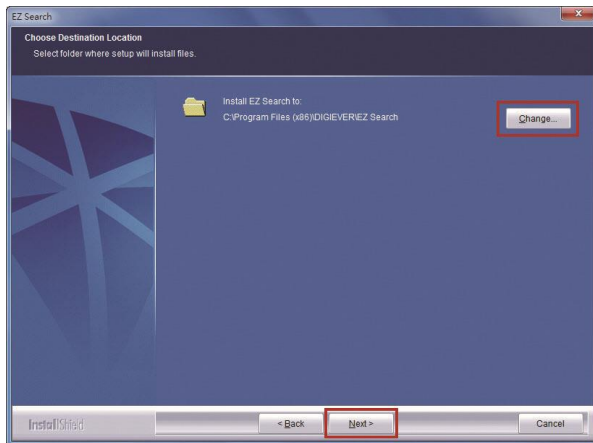
「Install EZ Search」をクリックして Dual-Eye 2nd 検索ユーティリティを PC にインストールします。



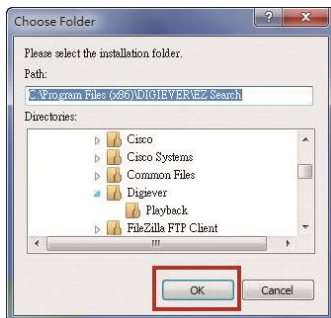
インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを続行します。



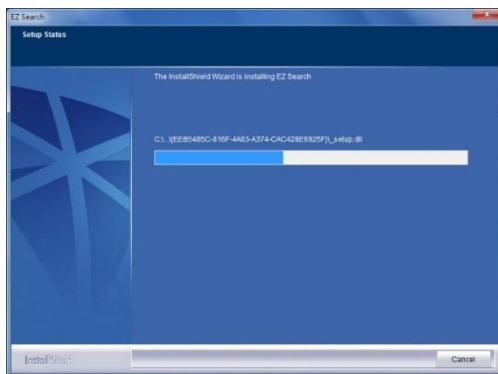
ライセンスの内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。



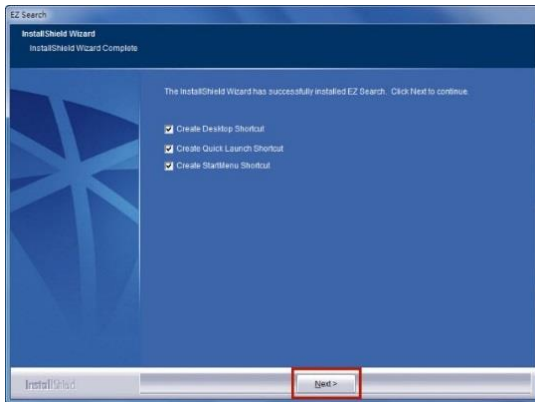
EZ Search は C:\Program Files (x86)\DIGIEVER\EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change...」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。



インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

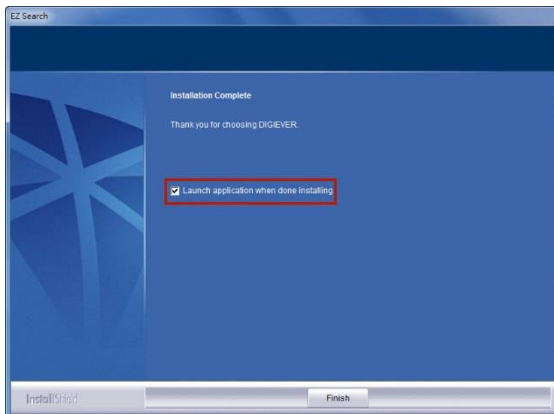


EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。

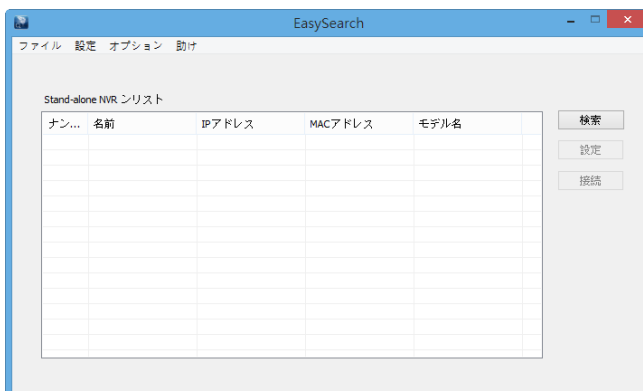


インストールが完了しました。

「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

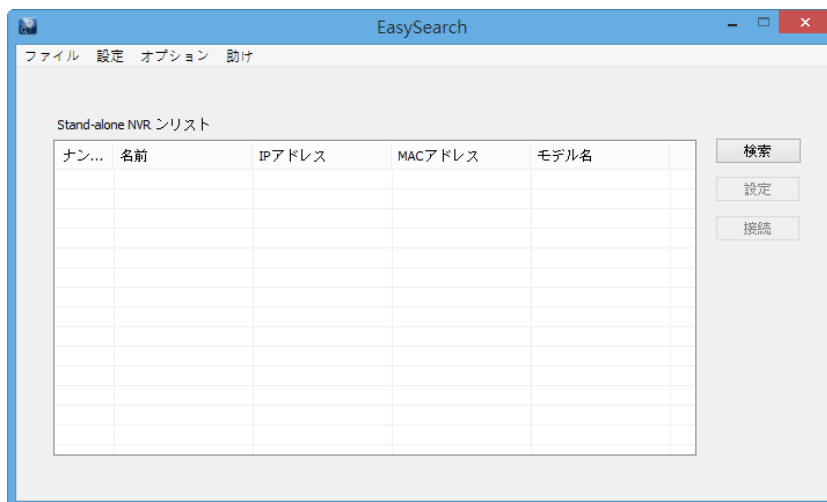


EZ Search は同一サブネット上の Dual-Eye 2nd を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

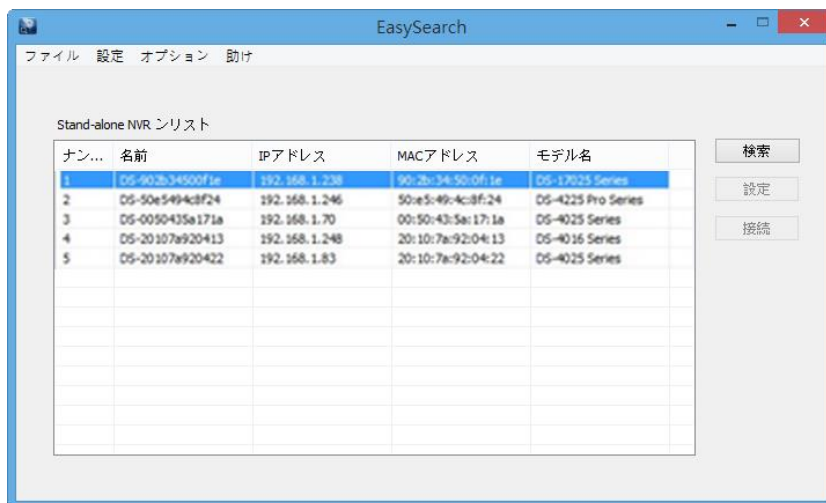
## EZ Search の使い方

### 1. 検索 (UPnP)

EZ Search を起動して検索を行うと同一サブネットの Dual-Eye 2nd を検索します。



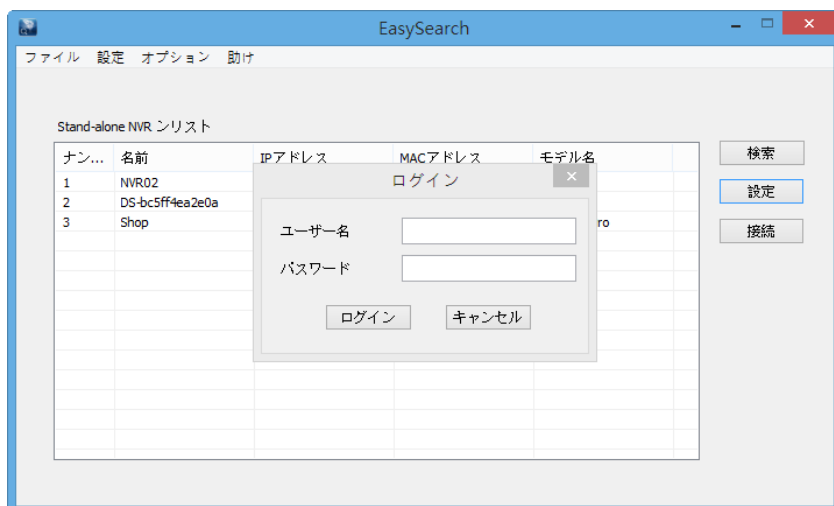
### 2. 設定



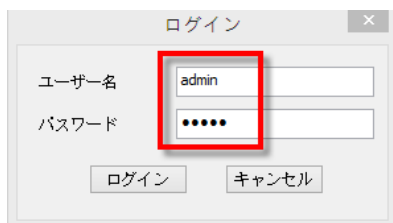
「設定」をクリックすると Dual-Eye 2nd のネットワーク設定を変更することができます。

⚠ 注意：設定を変更するためには、Dual-Eye 2nd の管理者 ID (ユーザー名) とパスワードが必要です。



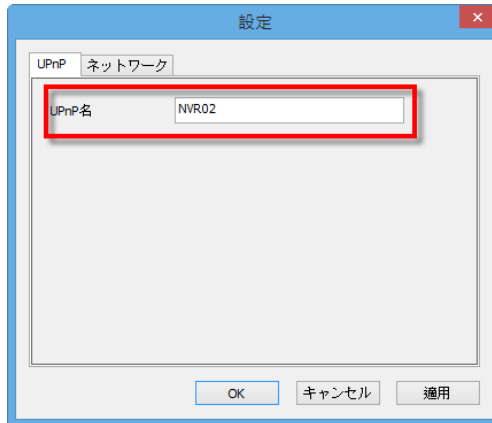


Dual-Eye 2nd の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後「ログイン」をクリックします。  
※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」となります。



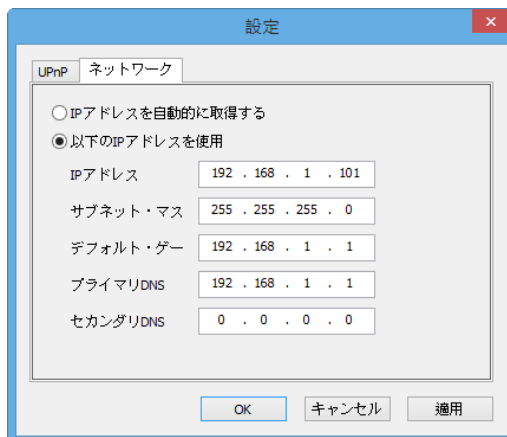
## 1) UPnP

UPnP (Universal Plug and Play) で表示される名称を変更できます。  
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。

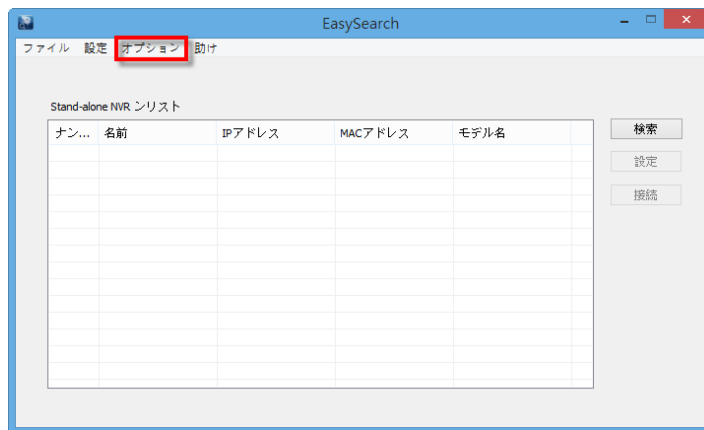


## 2) ネットワーク

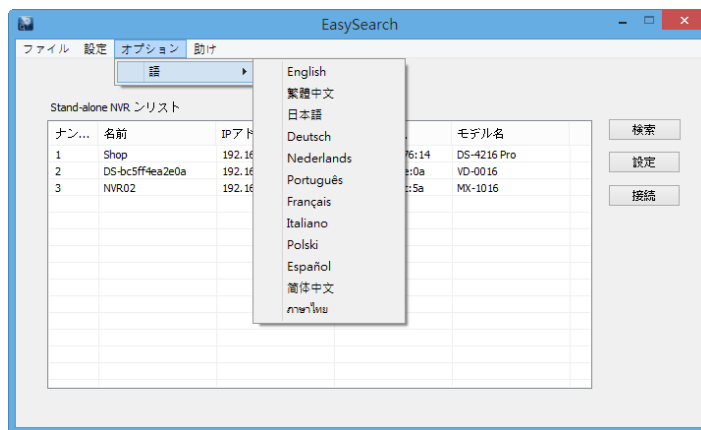
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と、固定 IP の設定による手動設定が選択可能です。



### 3. オプション



表示言語を変更できます。

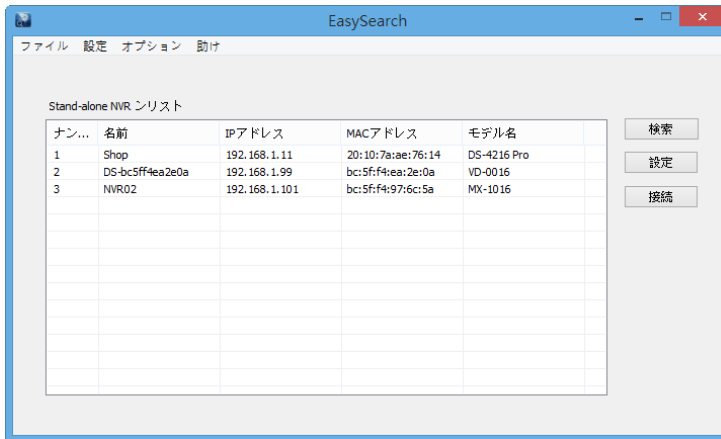


リストにある Dual-Eye 2nd を選んで「接続」をクリックするか、Dual-Eye 2nd 名をダブルクリックすると、ブラウザが立ち上がり Dual-Eye 2nd に接続します。

## 2.2.2 Dual-Eye 2nd への接続

### 1. Dual-Eye 2nd への接続

EZ Search のインストールが終わったら、ブラウザを用いて Dual-Eye 2nd に接続し、カメラの設定を行ってください。



#### 1) EZ Search を使って接続する

リストから Dual-Eye 2nd を選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、Dual-Eye 2nd に接続します。

#### 2) ブラウザを立ち上げてから接続する

Dual-Eye 2nd の IP アドレスを入力して接続してください。

### 2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名/パスワードを入力し、ログインを行ってください。

### 3. 表示言語の選択

ドリップダウンリストで言語を指定してください。



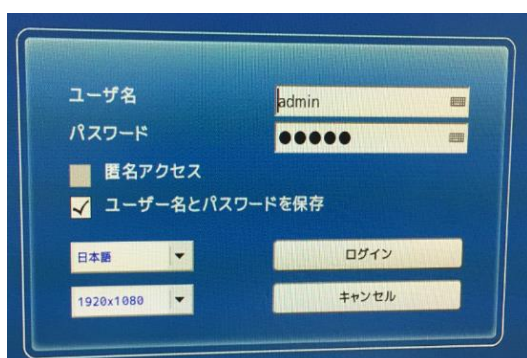
## Chapter 3. ローカル・ディスプレイでの操作

HDMI でモニターを Dual-Eye 2nd に接続して、クイック設定やライブ表示を行うことができます。

ローカル・ディスプレイを接続する前に、以下の準備を行ってください。

1. Dual-Eye 2nd とカメラをネットワークに接続してください。
2. Dual-Eye 2nd 背面のポート（HDMI）とモニターを正しく接続してください。
3. Dual-Eye 2nd の USB ポートにマウスを接続してください。
4. Dual-Eye 2nd に電源コードをつなぎ、電源をオンにしてください。
5. Dual-Eye 2nd にログインする際、ユーザー名とパスワードを入力し（初期値はどちらも「admin」）、表示言語を選択してください。

### 3.1 ログインする

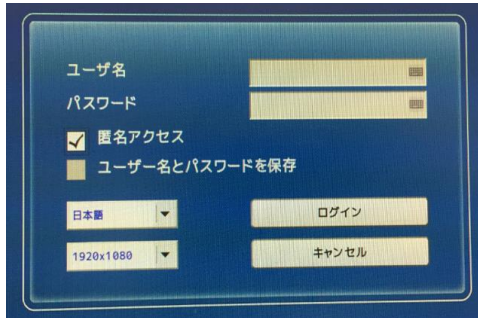


ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。

解像度：3840×2160、1920×1080 または 1024×768 を選択できます（モニターが対応している場合）。ただし、4K モニターを使用する場合、デュアル・ディスプレイモードは使用できません。

### 3.1.1 匿名アクセス

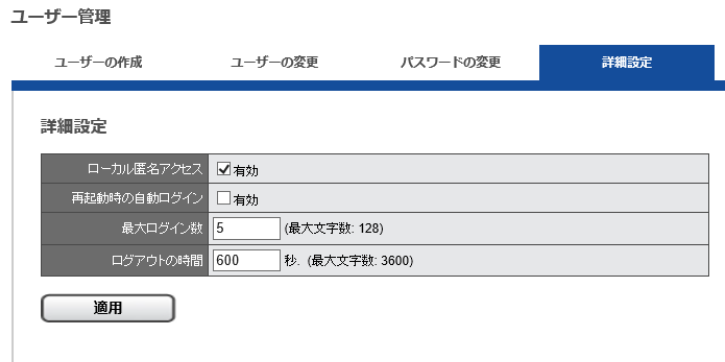
匿名アクセスを行えば、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。



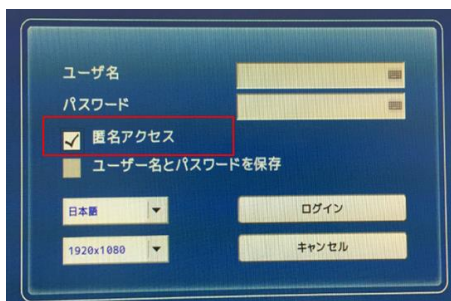
匿名アクセスをした時はライブ表示のみ行えます。設定ページへは移動できません。  
匿名アクセスが行われたことはログに記録されます。

#### 匿名アクセスを有効にする

- A. PC で Dual-Eye 2nd にログインして、「設定 > 管理 > ユーザー管理 > 詳細設定」へ移動します。



- B. 「ローカル匿名アクセス」にチェックを入れます。

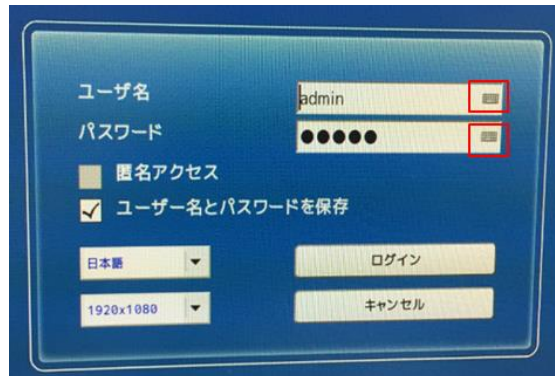


- C. ローカル・ディスプレイのログイン画面で匿名アクセスが可能になります。

## バーチャル・キーボード

文字入力の必要がある時は、USB キーボードを Dual-Eye 2nd の USB 端子に接続するか、バーチャル・キーボードを使ってください。

バーチャル・キーボードは、各コラムの右側にアイコンが用意されています。



バーチャル・キーボードには大文字、小文字、記号の3モードがあります。

-大文字



-小文字



-記号







## 3.2 映像表示

### 3.2.1 映像表示モードの選択



右上3つのボタンで表示モードを切り替えます。




モード	内容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	設定： カメラ、ライブ、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： Dual-Eye 2nd からログアウトする時にクリックします。
	録画再生： DIGISTOR との連動時、DIGISTOR の録画データを再生できます。



### 3.2.2 映像表示での主な機能

#### 1. カメラの状態



アイコン	内容
	<b>カメラ名:</b> 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	<b>オーディオ:</b> カメラがオーディオ機能をサポートしているとき、アイコンが青色で表示されます。サポートしていないときは灰色で表示されます。
	<b>青色の枠:</b> ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

#### 2. Dual-Eye 2nd 情報

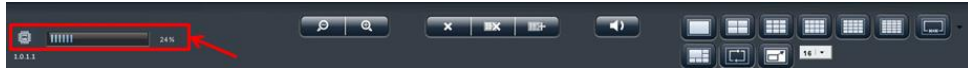
##### 1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに Dual-Eye 2nd のファームウェア・バージョンが表示されています。



## 2) システム負荷率

設定ページへ移動しなくても、システム負荷率を確認できます。









使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更中などは CPU の使用率が大きくなります。

常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

## 3) 基本機能

アイコン	内容
	<b>デジタル・ズームイン / アウト :</b> 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	<b>表示停止 :</b> 選択したカメラの表示を停止します。
	<b>全てを表示停止 :</b> 全てのカメラの表示を停止します。
	<b>全てを表示 :</b> 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	<b>消音 :</b> カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	<b>日付と時間 :</b> 現在の日付と時間を表示します。

## 3.オプション

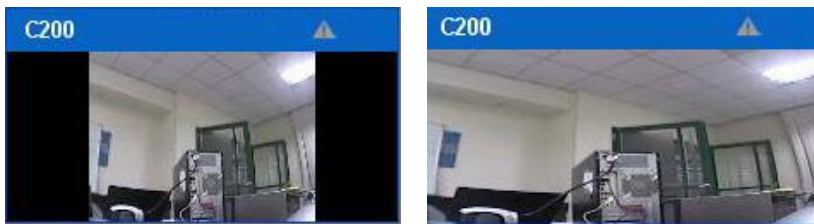
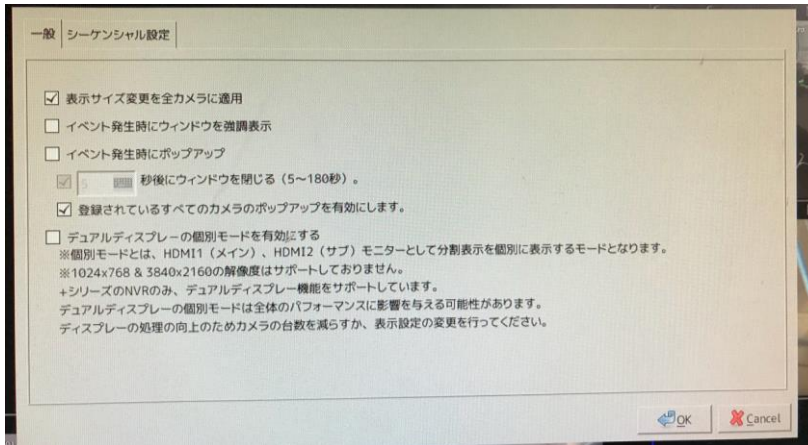


警告設定やウィンドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

### 1) 一般設定

#### ●表示サイズを全カメラに適用

映像ウィンドウ上で右クリックするだけで、全ての映像を「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」に切り替えられます。

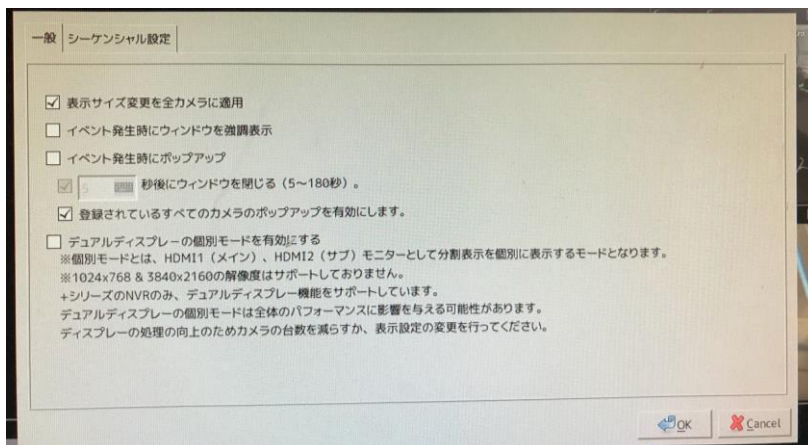


※Dual-Eye 2nd では、以下は使用できません。

- ・「イベント発生時にウィンドウを強調表示」
- ・「イベント発生時にポップアップ」
- ・「登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします」

### ●デュアル・ディスプレイの個別モードを有効にする

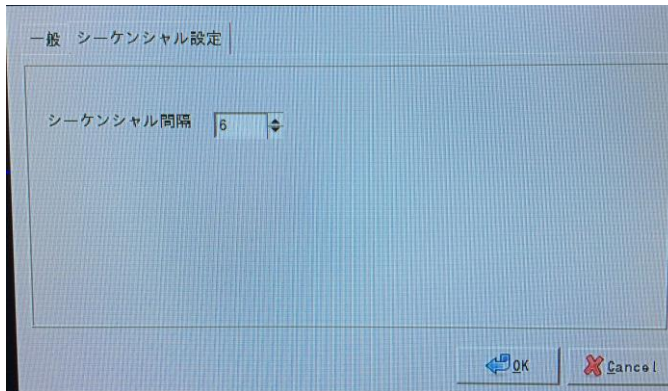
「デュアル・ディスプレイの個別モードを有効にする」にチェックを入れると、HDMI2 系統の出力により、異なった分割の映像出力が可能です。



## 2) シーケンシャル設定

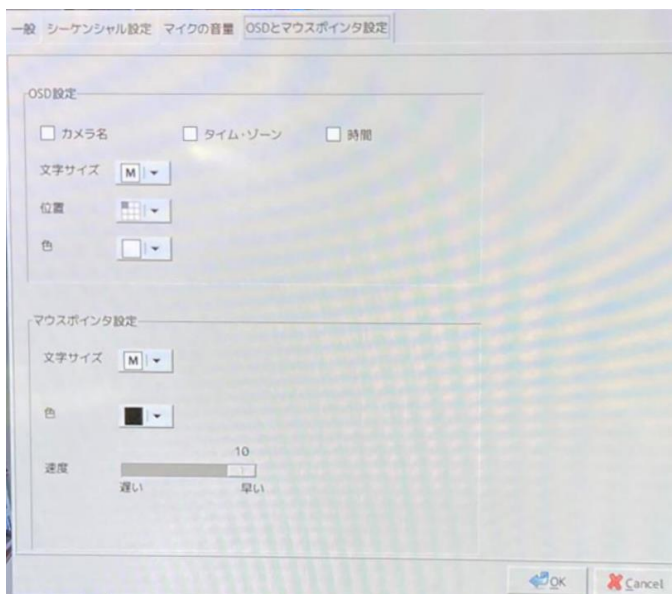
ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

※4～10000 秒の間で設定可能

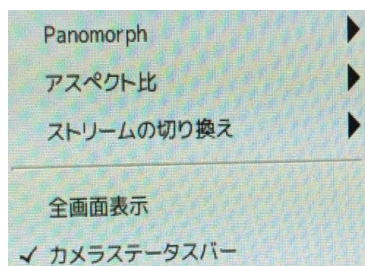


## 3) OSD とマウスポインタの設定

OSD の設定及び、マウスポインタの大きさ、速度の設定を行えます。



### 3.2.3 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック）



**1.Panomorph（魚眼補整モード）：**全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する際に使用できます。

(1) 全方位カメラの補整

- a. Panomorph を選択すると、カメラの位置及び、表示モードの変更ができます。
- b. カメラの設置場所及び、表示したい画面構成を選択してください。

**2.アスペクト比：**原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。

**3.ストリームの切り替え：**表示しているストリーミングの切り替えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム1は高画質（録画用）、ストリーム2は低画質（小サイズのウインドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適なストリームが表示されます。

また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。

**4.全画面表示：**全画面表示を終了します。

**5.カメラステータスバー：**カメラ情報などのステータスの、表示／非表示の切り替えができます。

### 3.3 録画再生

DIGISTOR と連携することで、Dual-Eye 2nd での録画再生の機能を使用できます。

※Dual-Eye 2nd での DIGISTOR との連携設定はカメラ設定を参照してください。

※再生時、「映像エクスポートの機能」が使用可能です（ver2.0.0.7-2 より）。

#### 3.3.1 録画再生の手順

録画再生は次の手順で行います。



- 1.再生したいカメラをリストから選択します。
- 2.再生したい日付と時刻を選択します。
- 3.再生したい録画映像のタイプを選択します。
- 4.「再生」ボタンをクリックします。

#### 1.カメラの選択



4台以下のカメラを選択して再生できます。

## 2.録画タイプの選択



再生したい日付と時刻を指定してください。

選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。

再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

## 3.録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

## 4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

## フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 「一時停止」ボタンをクリックします。
2. 「1コマ戻す（前のイメージ）」または「1コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



# Chapter 4. 設定

## 4.1 カメラ設定



手動またはUPnP 検索でカメラを Dual-Eye 2nd に登録できます。

### 1. カメラ設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録します。

※カメラ設定画面で連動したい DIGISTOR の IP アドレスを入力することにより、DIGISTOR に登録されているカメラの一括登録も可能です。

また、DIGISTOR の録画データを Dual-Eye 2nd 経由で再生することが可能です。

カメラ設定

カメラ設定	
カメラNo.	18 ▼
カメラ名	Camera 18
IPアドレス	192.168.0.
メーカー	Auto ▼
管理者名	admin
Generic URL	
ビデオサーバー	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 [1CH ▼]
ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> デコーダーにより設定 <input type="radio"/> カメラ設定取得
ポート	80
型番	
パスワード	*****
RTSP port	

注) ライブビューにおいて単画面から16分割はストリーム1を使用し、16分割以降はストリーム2を使用し表示を行います。(※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示にてストリーム1を使用します。)

注) カメラリストを参照してください。

カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードを入力してください。

（※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください。カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります）

### 変更後のユーザー名とパスワードの記録：

ユーザー名とパスワードが自動入力されたメーカーのユーザー名とパスワードを変更して「適用」をクリックすると、Dual-Eye 2nd は、そのメーカーの初期ユーザー名とパスワードを変更後の情報に書き換えます。以後、同じメーカーのカメラを



追加した時は、自動で変更後のユーザー名とパスワードが入力されます。

注意：ユーザー名とパスワードの初期値はメーカーによって異なります。

パスワードは4文字から30文字で入力してください。

登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1	Sec-000000	192.168.0.88	80	Sec-00000 Corporation	Sec-00000-000-000	<input type="checkbox"/>
2	Sec-000000	192.168.0.101	80	Parasports	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
4	Sec-000000	192.168.0.203	80	Parasports	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
5	Camera 1	192.168.0.76	80	Tatuee	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
6	Camera 2	192.168.0.87	80	Tatuee	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
7	0000	192.168.0.143	80	SABIO	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
8	0000	192.168.0.145	80	SABIO	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
9	0000	192.168.0.146	80	SABIO	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
10	0000	192.168.0.147	80	SABIO	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
11	0000	192.168.0.148	80	SABIO	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
12	test	192.168.0.150	80	ClearTek	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
13	test04	192.168.0.79	80	Tatuee	Sec-000000	<input type="checkbox"/>
14						
15						
16						

カメラの登録が完了したら、「次へ」をクリックしてください。

### ⚠ 削除

ユーザーは“削除”ボタンをクリックすることで Dual-Eye 2nd からカメラの登録の削除を行えます。“削除”ボタンをクリックし、カメラの登録の削除を行ってください。

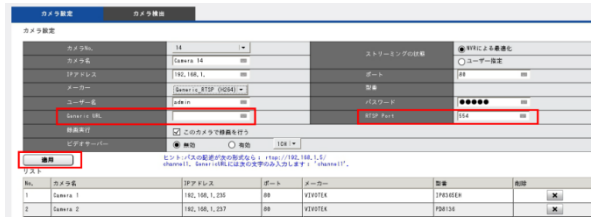
リスト	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1	Camera 1	192.168.1.235	80	VIVOTEK	FD6305EH	<input type="checkbox"/>
2	Camera 2	192.168.1.237	80	VIVOTEK	FD6136	<input type="checkbox"/>

### ● Generic RTSP/ Generic MJPEG

Dual-Eye 2nd は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示で用いられます（※あくまでテスト用の機能です）。



Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。



「適用」をクリックすると設定が反映されます。

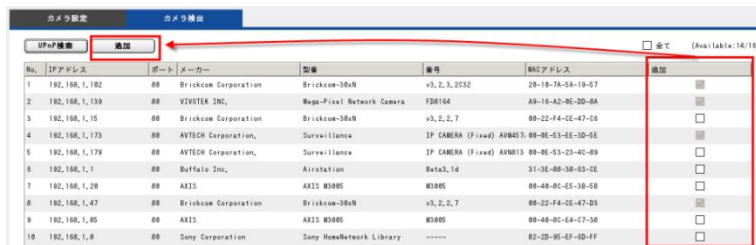
## 2. UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。

一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できません。下記は、検索中の画面です。「しばらくお待ちください」と表示されます。



登録可能なカメラが一覧表示されます。リストから「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。



登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、メーカー名、ユーザー名、ポート、型番、パスワードが表示されます。「適用」をクリックしてカメラを登録します。

**注意：**カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると Dual-Eye 2nd 側はそれを初期値として登録します。

カメラ設定

カメラの追加

No. 1

カメラ名 camera

IPアドレス 192.168.1.8

メーカー Sony

ユーザー名 admin

パスワード admin

RTSP Port

注) ライブビューにおいて画面幅から16分割はストリーム1を使用し、16分割以降はストリーム2を使用し表示を行います。(ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示にてストリーム1を使用します。)

No.	カメラ名	IPアドレス	ユーザー名	パスワード	メーカー	型番	状態
1	camera	192.168.1.8	admin	admin	Sony Corporation	Sony HandNetwork Library	

登録が終わったら「次へ」をクリックします。

### 3.VB 検索（※特定の Canon 製カメラのみ）

VB 検索をクリックすると、カメラが検索され、リストとして表示されます。

※Canon 製カメラとの組み合わせで使用できる初期設定検索です。使用できるカメラ等の内容は弊社 HP をご参照ください。検索を行っても設定できないカメラもあります。

カメラ設定

カメラ設定

カメラ名 カメラ9

IPアドレス 192.168.0.0

メーカー Auto

ユーザー名 admin

パスワード \*\*\*\*\*

注) ライブビューにおいて画面幅から16分割はストリーム1を使用し、16分割以降はストリーム2を使用し表示を行います。(※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示にてストリーム1を使用します。)

注) カメラリストを参照してください。

UPnP検索 ONVIF検索 **VB検索** 適用

登録を行いたいカメラを選択します。

カメラ名、IP アドレス、ユーザー名を任意で入力してください。

カメラ設定

グループ追加

VB検索

追加

No.	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	番号	MAC	追加されました。(未検)
1	192.168.0.20	80	Canon	VB-S910F	Canon_VB-S910F	—	<input type="checkbox"/>

「すべてのカメラの追加」ボタンを押すと設定を開始します。カメラの登録にはしばらく時間がかかります。

※ローカルネットワークのみで使用できる機能です。

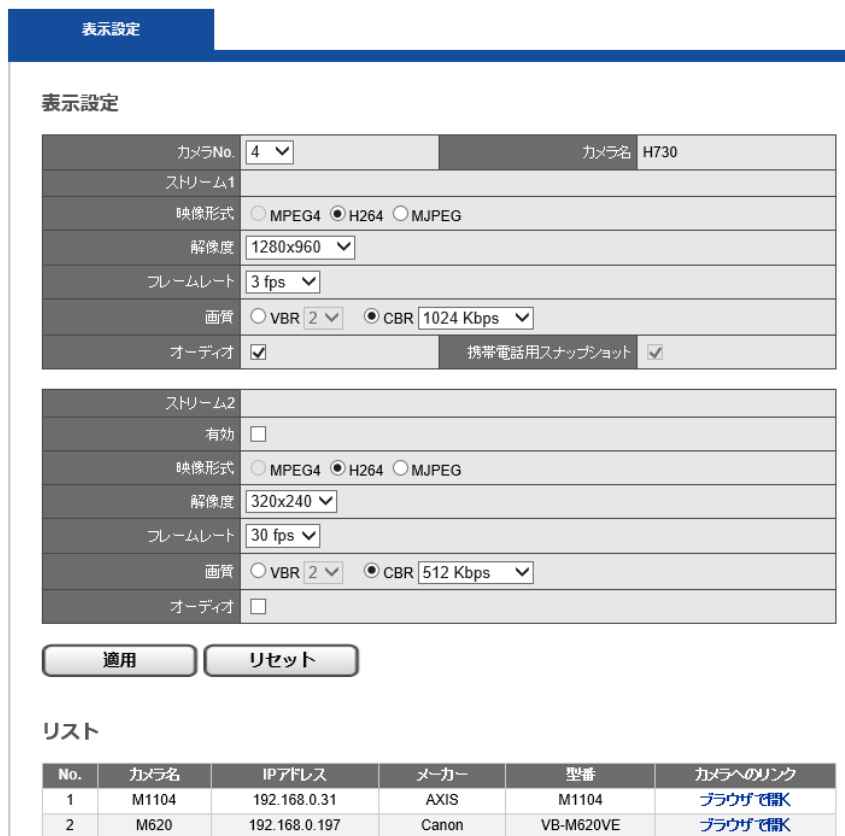
※カメラは初期状態である必要があります。

※ネットワーク設定内にある DHCP の機能を使用すると、より簡単に設定することが可能です。



#### 4.1.1 映像表示設定

メニューの中の「表示設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、Dual-Eye 2nd は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は 1~12 分割表示に使用するライブ映像用で通常は高画質設定、ストリーム 2 は 16 分割以上の小さいライブ映像を表示するために使用し、普通は低画質設定を行います。それぞれ最適な解像度、フレームレート、画質を設定してください。

※映像表示設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選んでください。上段に設定情報が読み込まれます。

#### 表示設定

カメラNo.	23	カメラ名	805D
ストリーム1			
映像形式	<input type="radio"/> MPEG4 <input checked="" type="radio"/> H264 <input type="radio"/> MJPEG		
解像度	1280x960		
フレームレート	5 fps		
画質	<input type="radio"/> VBR 2 <input checked="" type="radio"/> CBR 1536 Kbps		
オーディオ	<input checked="" type="checkbox"/>	携帯電話用スナップショット	<input checked="" type="checkbox"/>
ストリーム2			
有効	<input type="checkbox"/>		
映像形式	<input type="radio"/> MPEG4 <input checked="" type="radio"/> H264 <input type="radio"/> MJPEG		
解像度	320x240		
フレームレート	30 fps		
画質	<input type="radio"/> VBR 2 <input checked="" type="radio"/> CBR 512 Kbps		
オーディオ	<input type="checkbox"/>		

適用

リセット

#### ●映像形式

ライブ映像表示で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

#### ●解像度

ライブ映像表示で使用する解像度を選択してください。

#### ●フレームレート

ライブ映像表示／モニタリング時のフレームレートを選択してください。実際に表示できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。


#### ●画質

VBR（可変ビットレート）か CBR（固定ビットレート）を選択し、画質を選んでください（※カメラによって対応できるものとできないものがあります）。

#### ●オーディオ

オーディオ機能を有効にする時はチェックを入れてください。

注意：録画装置と併用して使用する場合は、原則その録画設定と同じ設定にして使用してください。

 カメラ側の同時接続数上限により、映像が出力されない場合は、ストリーム2の設定を無効にしてください。

## 4.1.2 カメラの状態

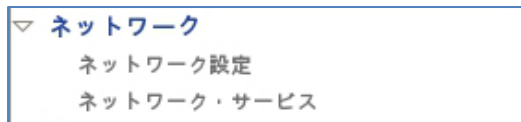
「カメラの状態」をクリックすると Dual-Eye 2nd に登録しているカメラの状態を確認できます。

カメラの状態

カメラの状態								
カメラの状態								
No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	フレームレート(fps)	ビットレート(Kbps)	映像形式	解像度	Via NVR
1	M1104	192.168.0.31	接続不良	0 fps	0 Kbps	H264	1280x720	----
2	M620	192.168.0.197	接続不良	0 fps	0 Kbps	H264	1280x960	----
3	M3007	192.168.0.57	接続不良	0 fps	0 Kbps	H264	1280x960	----
4	BB-HCm581	192.168.0.122	接続不良	0 fps	0 Kbps	MJPEG	640x480	----
5	VB-C300	192.168.0.199	接続不良	0 fps	0 Kbps	MJPEG	640x480	----

接続状態が「接続しました」は、カメラと Dual-Eye 2nd が正常に接続できている状態を表します。「接続不良」は何らかの理由で接続できていない状態です。

## 4.2 ネットワーク設定



「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。



### 1. 情報

情報	設定	DHCP設定	HTTPサービス
LAN1			
コンピューター名	DS-bc5ff4aa2d84		
IPアドレス	192.168.1.121		
サブネット・マスク	255.255.255.0		
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.1.5		
プライマリーDNSサーバー	192.168.1.5		
セカンダリーDNSサーバー	168.95.1.1		

コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリー及びセカンダリーDNS 情報を表示します。

## 2. 設定

ネットワーク設定	
ネットワーク・インターフェイス <input checked="" type="radio"/> 共有IP	
LAN1	
コンピューター名	D5-bc5f14aa2d84
インターネット・プロトコル	<input type="radio"/> IPアドレスを自動的に割り付け <input checked="" type="radio"/> 特定のIPアドレスを使用
IPアドレス	192.168.1.121
サブネット・マスク	255.255.255.0
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.1.5
プライマリ・DNSサーバー	192.168.1.5
セカンダリ・DNSサーバー	168.95.1.1

設置するネットワークの状況に応じ、設定を入力してください。

● **DHCP** : ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

● **固定 IP** : DHCP サーバーが存在しない時、Dual-Eye 2nd の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数の Dual-Eye 2nd が存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。

### ●ポート設定

80 番以外のポートを使用する場合は、HTTP サービスより 80 番のポートから変更ができます。

HTTP	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
管理ポート	80

注意: ポート1234~1362とその他一部のポートはシステムが使用しています。

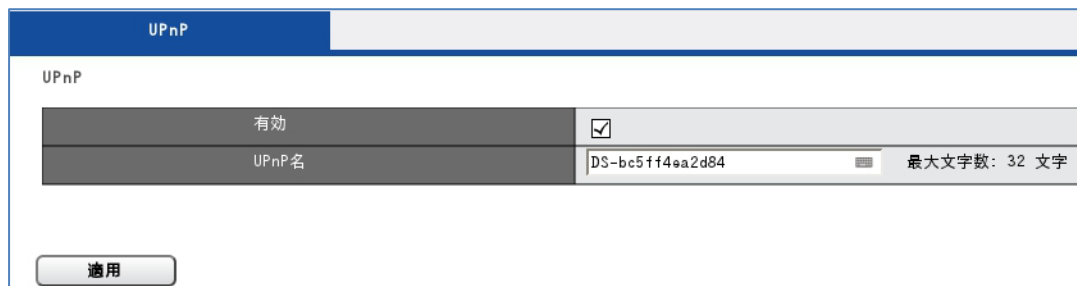
※ LAN2 はデフォルト・ゲートウェイの設定が行えませんが、基本、メンテナンスポート用としてご使用ください。

## 4.2.1 ネットワークサービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください



### 1. UPnP



A screenshot of the UPnP configuration window. The window has a blue header with the text 'UPnP'. Below the header, the title 'UPnP' is displayed. There are two rows of configuration options:

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
UPnP名	DS-bc5ff49a2d84 <input type="text"/> 最大文字数: 32 文字

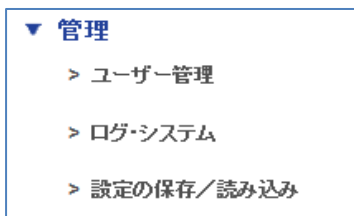
At the bottom left of the window, there is a button labeled '適用' (Apply).

UPnPの有効/無効を切り換えられます。またUPnPで使用するコンピューター名を変更できます(半角英数で最大32文字)。



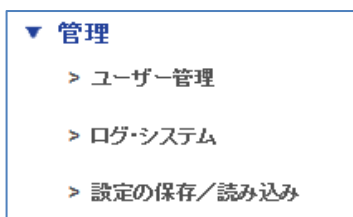
## 4.3 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、Dual-Eye 2nd に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理を行うことができます。



### 4.3.1 ユーザー管理

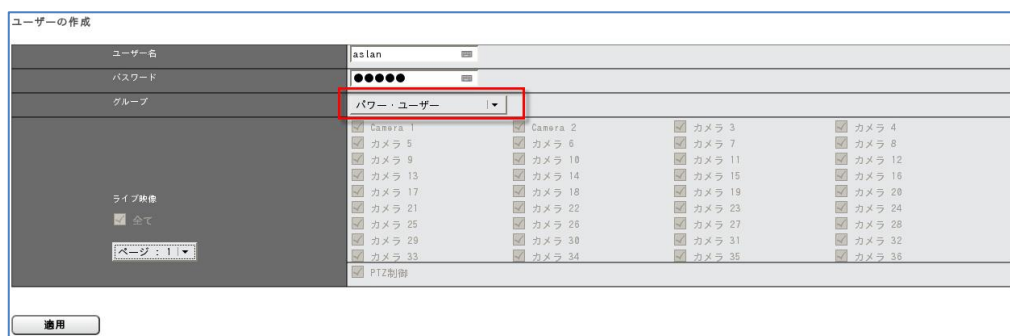
「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。Dual-Eye 2nd には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「パワー・ユーザー」と「ユーザー」の2グループがあり、「パワー・ユーザー」は一部の設定変更が可能です。「ユーザー」も設定ページへ移動できますが自分のパスワードしか変更できません（※追加の管理者 admin ユーザーは作成できません）。



#### 1. ユーザーの作成

##### ● Power User

ユーザー名（半角英数字 16 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「パワー・ユーザー」を選択してください。ライブ映像に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。



「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

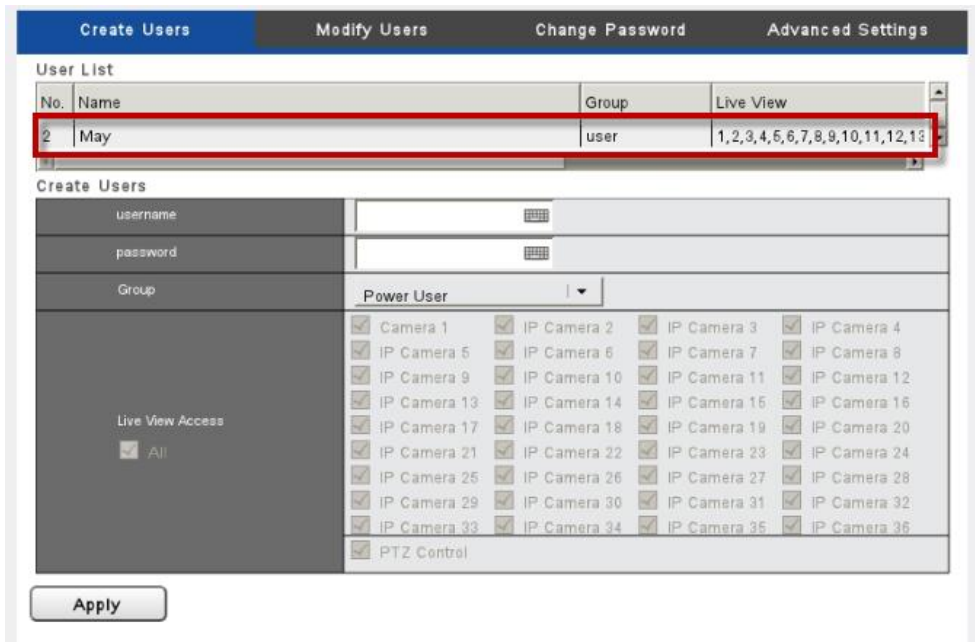


## ● User

ユーザー名（半角英数字 16 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「ユーザー」を選択してください。ライブ画像に関する権限を設定します。チェックの入ったカメラのみ表示されます。

ユーザーの作成

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。



## 2. ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

削除	No.	名前	グループ	ライブ表示
<input type="checkbox"/>	1	aslan	power user	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 3
<input type="checkbox"/>	2	May	user	1, 5

ユーザーの権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。登録しているユーザーを削除する時はリストで選択して「削除」をクリックします。

## 3. パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

パスワード設定

ユーザー名: admin

新しいパスワード: (最大文字数 15 文字)

パスワードの再入力:

適用

## 4. 詳細設定

このページでは、匿名アクセスの設定が使用可能です。

匿名アクセスを使用することにより、ログイン情報を入力することなく、ライブ映像を表示できます。

### ユーザー管理

詳細設定

ローカル匿名アクセス  有効

再起動時の自動ログイン  有効

最大ログイン数: 5 (最大文字数: 128)

ログアウトの時間: 600 秒. (最大文字数: 3600)

適用

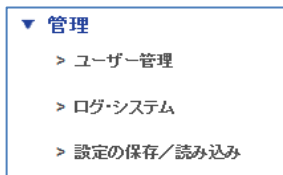
- ローカル匿名アクセス :

簡易のライブのみのユーザーでログインを行います。

- 再起動時の自動ログイン

この機能を使用すると、再起動時にも前回使用したユーザー名で自動ログインが行えます（※ローカル匿名アクセスとの併用はできません）。

### 4.3.2 ログ・システム



「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。Dual-Eye 2nd が保存するログには次の5種類があります：ハードウェア・ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴

#### ハードウェア・ログ

CPU、ブザー、システム、USB に関する情報が記録されます。

日付と時間	レベル	本文
2014/12/09 21:14:02	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/12/09 21:14:02	notice	[HW] enable fan control.
2014/12/09 21:14:02	info	[HW] System is starting to work.
2014/12/09 17:01:13	notice	[HW] system poweroff trigger by power button.
2014/12/09 14:23:41	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/12/09 14:23:41	notice	[HW] enable fan control.

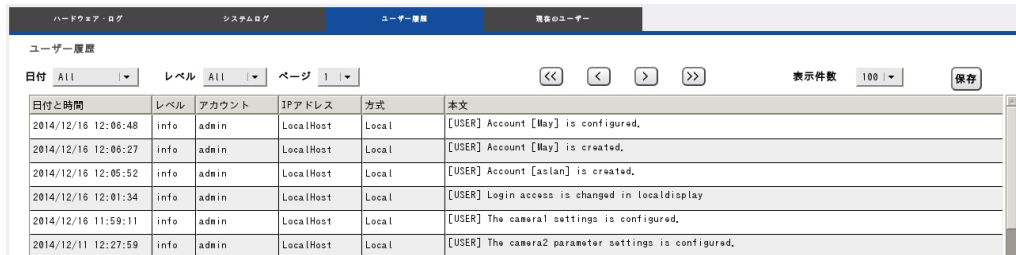
#### システムログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定に関する情報が記録されます。

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	本文
2014/12/11 11:09:26	info	SYSTEM	LocalHost	[NVR] The IP is been changed.<192,168,1,121>.
2014/12/10 03:10:39	info	SYSTEM	LocalHost	[NVR] The IP is been changed.<192,168,1,121>.
2014/12/09 21:14:03	info	SYSTEM	LocalHost	[NVR] Storage is not ready! Unable to handle .tmp file.
2014/12/09 21:14:02	notice	SYSTEM	LocalHost	[NVR] System had not been shutdown normally.
2014/12/09 06:23:44	info	SYSTEM	LocalHost	[NVR] The IP is been changed.<172,20,129,135>.
2014/12/09 14:23:41	info	SYSTEM	LocalHost	[NVR] System is ready for starting up.
2014/12/09 14:18:09	notice	SYSTEM	172,20,129,135	[NVR] Firmware upgrading.
2014/12/09 05:21:05	info	SYSTEM	LocalHost	[NVR] The IP is been changed.<172,20,129,135>.

## ユーザー履歴

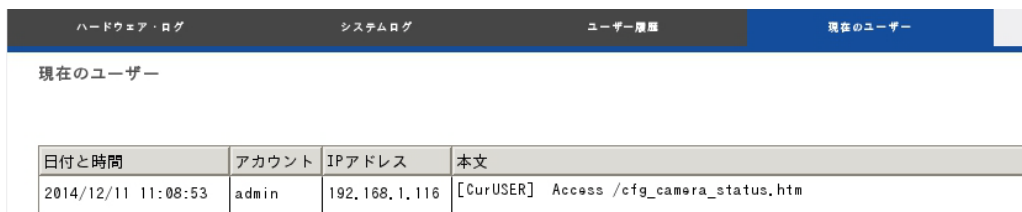
Dual-Eye 2nd にログインしたユーザー情報が記録されます。



日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	本文
2014/12/16 12:06:48	info	admin	LocalHost	Local	[USER] Account [May] is configured.
2014/12/16 12:06:27	info	admin	LocalHost	Local	[USER] Account [May] is created.
2014/12/16 12:05:52	info	admin	LocalHost	Local	[USER] Account [aslan] is created.
2014/12/16 12:01:34	info	admin	LocalHost	Local	[USER] Login access is changed in localdisplay
2014/12/16 11:59:11	info	admin	LocalHost	Local	[USER] The camera settings is configured.
2014/12/11 12:27:59	info	admin	LocalHost	Local	[USER] The camera2 parameter settings is configured.

## 現在のユーザー

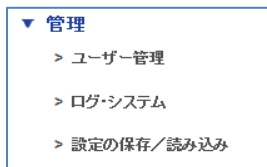
現在、Dual-Eye 2nd にログインしているユーザーの情報を表示します。



日付と時間	アカウント	IPアドレス	本文
2014/12/11 11:08:53	admin	192.168.1.116	[CurUSER] Access /cfg_camera_status.htm

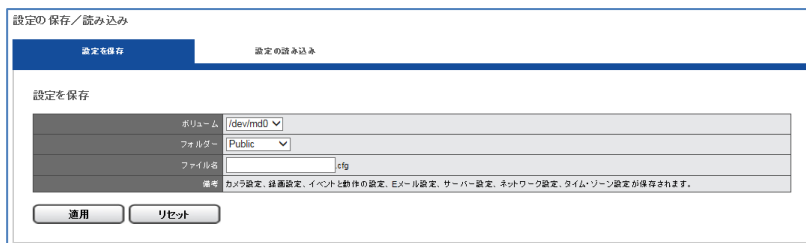
### 4.3.3 設定の読み込み（初期化）

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。



### 設定の保存

ボリュームとフォルダをメニューから選んで保存先を決めます。また、ファイル名（拡張子はcfg）を入力してください。



**注意：**設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、Eメール設定、サーバー設定が含まれます。

## 設定の読み込み

設定ファイルを読み込むことで、設定をコピーすることができます。

設定の保存/読み込み

設定も保存      設定の読み込み

設定の読み込み

設定方法  
 初期設定に戻す  
 設定の読み込み

ボリューム /dev/mtd0

フォルダ Public

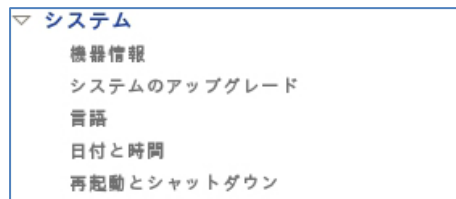
ファイル名 .cfg

備考 カメラ設定、録画設定、イベントと物体の設定、Eメール設定、サーバー設定を読み込みます。

適用      リセット

「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、サーバー設定が初期値に戻ります。  
「設定の読み込み」を選択し、cfg ファイルを選択して「適用」をクリックすると、設定が書き換えられます。

## 4.4 システム



### 4.4.1 機器情報

「システム」メニューから「機器情報」を選択します。



### システム情報

型番、ファームウェア Ver、MAC アドレス、ネットワーク・アダプター等の情報を表示します。

システム情報		エンクロージャー情報
情報		
型番	VD-0036 UHD	
ファームウェアバージョン	2.0.0.3	
MACアドレス	10:bf:48:8c:21:be, 10:bf:48:8c:21:bf	
OS	Embedded Linux	
OS/バージョン	Linux version 4.10.14	
CPU	Intel(R) family	
ネットワーク・アダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps	
位置確認	<input type="button" value="位置確認"/>	

### 位置確認

ボタンをクリックすると3秒間、Dual-Eye 2nd 本体からブザーが鳴ります。複数のDual-Eye 2nd を運用している時など、位置を特定するのに便利です。

システム情報		エンクロージャー情報	
温度情報			
CPUの温度		37 ° C	
システムの温度		44 ° C	
ファンの回転速度			
CPUのファン		995 RPM	
システムのファン		3276 RPM	

## エンクロージャー情報

CPU の温度の状態などが表示されます。

**⚠ 注意:** Dual-Eye 2nd の動作温度は 0~40℃です。

### 4.4.2 システムのアップグレード

ローカル・ディスプレイを操作して、Dual-Eye 2nd のファームウェアをバージョン・アップできます

**⚠ 注意 :** お使いの Dual-Eye 2nd のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

**⚠** アップグレード実施前に必ず再起動を一度実施して頂き、再起動後にアップグレードを実施してください。

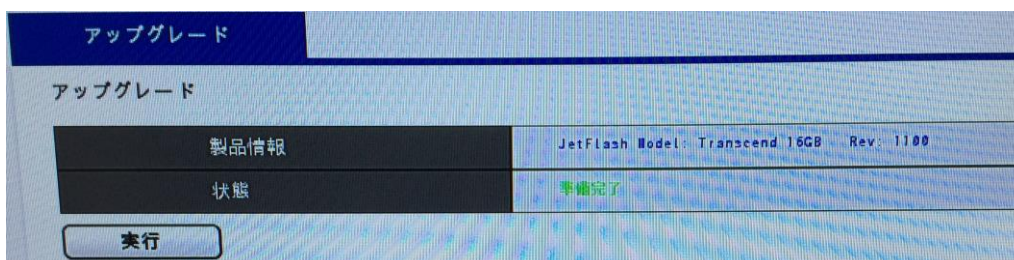
### ローカル・ディスプレイによるアップデート

最新のファームウェアを取得してください（※詳細は販売店にお問合せください）。

USB メモリを準備してファイルをメモリに入れてください。

（※一番上の階層に update.bin のみが入るようにしてください。また、USB ドライブは FAT32 にてフォーマットを行ったものを使用してください）

(1) システムをアップデートします。



(2) アップデートが完了すると再起動を自動的にを行います。



(3) 正常にアップデートが行われたかどうかシステム情報より確認してください。

システム情報		エンクロージャー情報	
情報			
型番	VD-0036 UHD		
ファームウェアバージョン	2.0.0.3		
MACアドレス	10:bf:48:8c:21:be, 10:bf:48:8c:21:bf		
OS	Embedded Linux		
OS/バージョン	Linux version 4.10.14		
CPU	Intel(R) family		
ネットワーク・アダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps		
位置確認	<a href="#">位置確認</a>		

#### 4.4.3 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。



「適用」を押し、設定を完了してください。



#### 4.4.4 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。



## 1. セットアップ

手動設定		タイム・ゾーン	
日付と時間			
年	2014		
月	12		
日	16		
時間	12	9	4
<input type="button" value="適用"/>			

手動で設定する時は年・月・日と時間を選択して「適用」をクリックしてください。

## 2. タイムゾーン

手動設定		タイム・ゾーン	
タイム・ゾーン			
タイム・ゾーン	(GMT+08:00)Taiwan		
	<input type="checkbox"/> サマータイムを使用する		
NTPサーバーアドレス	time.stdtime.gov.tw	<input type="checkbox"/> NTPサーバーと同期する	
	<input checked="" type="radio"/> 毎月 1 日 0 0 (時:分)		
	<input type="radio"/> 毎週 日曜 0 0 (時:分)		
	<input type="radio"/> 毎日 0 0 (時:分)		
	時間差が 30 秒以上の場合、時刻同期を行う。(1-180)		
NVR内蔵NTPサーバーアドレス	192.168.1.121		
<input type="button" value="適用"/>			

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

### Dual-Eye 2nd にビルトインされた NTP サーバー :

Dual-Eye 2nd を NTP サーバーとして利用することができます。システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

## 4.4.5 再起動とシャットダウン

### 再起動とシャットダウン

再起動とシャットダウン	電源ボタン
<b>オプション</b>	
<input checked="" type="radio"/> 再起動	
<input type="radio"/> シャットダウン	
<input type="button" value="適用"/>	<input type="button" value="リセット"/>

「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。

「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。

### 電源ボタン

#### 電源ボタン

再起動とシャットダウン	電源ボタン
<b>電源ボタンのシャットダウン設定</b>	
パスワードによる保護設定 <input type="checkbox"/> 有効	
<b>ヒント:</b> パスワードによる保護設定を有効にした場合に、システムをシャットダウンするように、管理者とパワーユーザーは電源ボタンを3秒押し、自らのパスワードを入力してください。	
<input type="button" value="適用"/>	<input type="button" value="リセット"/>

「パスワードによる保護設定」にチェックを入れることで、パスワード入力後を行わない限り、シャットダウンができない機能です。電源ボタンを3秒押下したのち、パスワードの入力が要求されますので、入力し、シャットダウンを行ってください。